

無理に運転するのは危険だ！

車が雪で動けなくなったら、まずエンジン停止
帯広、車内で男性CO中毒死 備えに防寒着やスコップ

屋内でも起きる可能性 降雪時には暖房機の吸排気口が雪でふさがれていないか、確認する必要

2016/03/02 07:00

深い雪の中では、排気管から車内に排ガスが流れ込む危険性があることがあらためて浮き彫りになった。運転や停車中、雪で動けなくなったらどうすればいいのか？。

やむを得ず車を運転する必要がある時は、車に防寒具やスコップのほか、飲料水などを積んでおく。運転中、吹雪などで視界が悪くなったり、道路に吹きだまりができている場合は、道の駅やガソリンスタンド、コンビニエンスストアなどで天候の回復を待つ。無理に運転するのは危険だ。

雪で車が動けなくなったら、国土交通省の道路緊急ダイヤル(#9910)などに連絡するほか、CO中毒を防ぐため、原則としてエンジンを止める。防寒などのためにエンジンを掛ける際は、排気管の周囲が埋まらないように除雪し、窓を少し開けて換気を行うようにする。

車内だけでなく、雪の影響によるCO中毒は屋内でも起きる可能性がある。降雪時には暖房機の吸排気口が雪でふさがれていないか、確認することが必要という。

2時間ごとに、15分休憩で 守ろう！自分の命

交差点 信号が、「青」に変わった！
チョット待て！ もう一度、安全確認しよう

「なれた道・なれた仕事」 に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁です>

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分にとろう！ 滑って、追突を未然に防止しよう

◆スリップ事故 注意！◆
峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口
交差点手前、滑って交差点内で衝突 / 注意しましょう

スピード落として、しっかり安全を確認しましょう！

“1人で作業” 荷台からの“転落”、“はさまれ”事故に注意しましょう

てんかんの発作により意識障害に陥るおそれがあることを知りながら運転 歩道暴走、危険運転致死傷罪で73歳男起訴

2016年3月3日(木)5時27分
去年10月、宮崎市で軽乗用車が歩道を暴走し、男女6人が死傷した事故で、地検は、車を運転していた73歳の男を、てんかんの発作により意識障害に陥るおそれがある状態で事故を起こしたとして、危険運転致死傷の罪で起訴しました。起訴されたのは、男性容疑者(73)です。起訴状によりますと、被告は去年10月、てんかんの発作により意識障害に陥るおそれがあることを認識しながら軽乗用車を運転。その後、意識障害の状態に陥り、そのまま歩道を時速最高65キロで暴走し、女性2人を死亡させた。地検は、被告の認否について明らかにしていません。

緊急走行のパトカーが右折、対向直進の乗用車と衝突 こどもの交通事故に急行中 鬼ごっこをしていた児童が、はねられ、全身打撲の重傷

2016年3月2日(水)18時40分
子どもの交通事故に急行していたパトカーが事故です。2日午後4時半ごろ、東京都で緊急走行中のパトカーが右折したところ、反対車線を直進してきた乗用車と衝突しました。消防庁によりますと、パトカーに乗っていた32歳の男性警察官が右足の痛みを訴え、救急搬送されました。パトカーは、小学3年生の男の子(9)が乗用車にはねられた現場に向かっている最中でした。男の子は鬼ごっこをしていたということで、全身打撲の重傷です。

交差点 左折のタンクローリー、自転車に衝突 中学生死亡

2016年3月1日 18:00
1日午後3時10分ごろ、栃木県の市道交差点で、左折したタンクローリーが横断歩道を渡っていた、中学3年生女子生徒(15)の自転車と衝突、女子生徒は搬送先の病院で間もなく死亡した。警察は、自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いでタンクローリーを運転していた、会社員の男性(48)を現行犯逮捕した。

右から横断していた自転車の専門学校生重傷

2016年3月1日
1日午前8時5分ごろ、栃木県の交差点で、自転車で横断していた、専門学校生男子(19)に、左から来た乗用車が衝突、専門学校生は頭などに重傷を負った。警察は自動車運転処罰法違反(過失傷害)の疑いで、乗用車を運転していた、会社員の女性(22)を現行犯逮捕した。